

支部健康づくり戦略（案）



令和 8 年 1 0 月 1 9 日
全国健康保険協会島根支部
令和 8 年度 第 2 回 評 議 会

1. 島根支部 課題シート

	課題
1	島根支部は拠点が県の東部（松江市）に位置し、東西に長い県の地理条件下で地域の実情に応じた健康づくり事業を丁寧に実施することが困難な状況となっている。そのため、地域に根差した保健活動を実施している市町村とのさらなる連携強化が重要といえる。
2	<u>代謝リスク</u> 保有率が全国平均を上回っている。男女ともに全国平均との差は縮小傾向にあるものの依然として上回っている。 参考：【第3期データヘルス計画の目標】被保険者・被扶養者の代謝リスクの保有率1%減（R4年度：17.96%→R11年度：17.00%）
3	<u>血圧リスク</u> 保有率が全国平均を上回っており、男女ともにその差が拡大傾向にある。なお、高血圧及び循環器疾患は島根県内の多くの市町村において健康課題となっていることを、市町村担当者との意見交換交換会（令和8年8月～9月）において確認した。
4	少子高齢化等を要因に <u>医療分野</u> における人材確保が困難な状況となっており、島根県における新たな地域医療構想策定に係る論点の1つとなっている。そのため、適切な医療提供体制を確保するためには健康づくりという側面から <u>医療従事者</u> をサポートする必要がある、医療保険制度改正（令和8年6月）関連法令においても勤務環境改善等の制度的対応が強化されたところ。これらを踏まえ、今般、医療従事者の健康づくりを促進するという観点から業態別分析を実施したところ、医療従事者が所属する区分「 <u>医療業・保健衛生</u> 」は生活習慣病予防健診及び特定保健指導の実施率が業態別で最も低い水準で、健康宣言率も支部平均を下回っており、加えて、島根支部の外来一人当たり医療費が全国平均を上回る最も強い要因となっていること等が判明し、これらの対策を検討のうえ実行する必要がある。

2. 島根支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プラン（案）を踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略（案）」の構成及び主な取組は以下の通りです。

島根支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス及びヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進を図るとともに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう取組を進めることにより、健康寿命の延伸を推進し、協会の理念である加入者・事業主の利益の実現を図ります。

II) 戦略概要

2026（令和8）年の健康保険法改正により、協会の責務として、加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じたきめ細かい予防・健康づくりを適切かつ有効に実施することが明確化されたことを踏まえ、加入者の健康の保持・増進に向けて、第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、健康課題（代謝リスク及び血圧リスク）の解消に向けた取組を進めます。併せて、2026（令和8）年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2026」において、「「攻めの予防医療」を推進し、健康増進、肥満症を含む疾病予防、早期発見、早期介入及び行動変容に関係機関が連携して取り組む」と示されていることを踏まえ、健康寿命の延伸に取り組めます。

2. 島根支部 健康づくり戦略（案）

保健事業の基盤となる健診、特定保健指導、重症化予防の取組に加え、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、地域・職域の特性を踏まえたアプローチに積極的に取り組む等、島根県における健康増進計画等の実現に向けて、関係機関・団体、特に市町村との連携を強化し、地域・職域が一体となった健康づくりを推進します。

ヘルス・マネジメント認定制度の普及を図ることで健康経営を推進し、健康づくりを総合的に推進します。

けんぽアプリを中心とするけんぽDXを実現させ、加入者と直接つながる環境を整備し、協会から働きかける「PUSH型」の支援（一人ひとりの状況に寄り添い、より個人に合わせたサービスを届けることで、加入者の行動変容を促すもの）を拡充するとともに、利用者の拡大に取り組みます。

加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう、島根県における地域医療構想や医師確保計画、医療費適正化計画、医療に携わる加入者の健康確保等の実現に向けた取組を推進します。

2. 島根支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[個人の特性に応じた支援]

協会が保有する医療や健診、給付等のデータを活用し、支部の健康課題（代謝リスク及び
血圧リスク）の解決に向けて、加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じた取組を実施
します。

けんぽアプリが「加入者と直接つながるプラットフォーム」となるよう、健診案内や予約、
受診後のフォローアップ等の機能拡充と並行して、利用者の拡大に取り組みます。

[健康経営の推進]

事業所が健康経営を実践するため、事業所内で健康経営を経営方針として主導し、健康づ
くりに関するキーパーソンとなる事業主等への働きかけを一層推進するとともに、多くの事
業所が自ら従業員等の健康づくりを進め、事業所全体の健康意識を醸成することを目指した
取組を実施します。

島根県や市町村と連携し、ヘルス・マネジメント認定制度や市町村独自の健康づくりの取
組を活用することにより、事業所の健康経営を推進します。

協会が保有する医療や健診データ等を活用し、事業所ごとの健康課題の解決に向けて、訪
問等により個別サポートを行います。

2. 島根支部 健康づくり戦略（案）

〔健診の拡充〕

2026（令和8）年度から開始した被保険者に対する若年者への健診や人間ドック健診における利用状況等を把握し、利用の定着に向けた取組を進め、実施率の向上を図ります。

健診機関が不足している地域において、地域内の基幹病院等と連携し、人間ドック健診及び生活習慣病予防健診の実施機関を拡大させることにより健診受診者の増加を図ります。

2027（令和9）年度から開始する被扶養者に対する健診の拡充や市町村との連携を促進し、実施率の向上を図ります。

〔特定保健指導の量・質の向上〕

2026（令和8）年度からの人間ドック健診での特定保健指導の実施や、2027（令和9）年度からの被扶養者への健診拡充等に併せて、健診当日の特定保健指導利用機会の拡大等の取組を進めることにより、実施率の向上を図るとともに、特定保健指導の未実施者に対する健康づくりの支援を進めます。

加入者の生活習慣の持続的な改善を目指して、特定保健指導の質の向上を図るべく効果的で確実な保健師及び管理栄養士の育成に努めます。

2. 島根支部 健康づくり戦略（案）

〔重症化予防の拡充〕

これまでの血圧・血糖・脂質・腎機能・胸部エックス線検査の結果に基づく取組に加え、支部の健康課題の解消に向けた取組を関係団体と連携し進めます。

2027（令和9）年度からは胃がん・大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の結果に基づく受診勧奨も実施します。

〔ヘルスリテラシーの向上〕

協会が保有する医療や健診等のデータ分析を進め、生活習慣病やメンタルヘルス、女性の健康、喫煙、睡眠、口腔の健康等、島根県・市町村・業態等の特性を踏まえた対応を行うことで、加入者のヘルスリテラシーの向上を図ります。

2. 島根支部 健康づくり戦略（案）

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

島根県における地域医療構想や医師確保計画等の策定や取組の推進に積極的に参画します。

地域の現状や課題を把握し、病床機能の分化や医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化、医療・介護連携の推進、医師偏在の是正等に向けた意見発信を行い、地域における効果的・効率的な医療提供体制の構築に向けて保険者に期待される役割を果たしていきます。

医療に携わる加入者の健康づくりを促進することで、働き手不足が深刻化している医療提供体制を健康づくりという側面からサポートします。

[医療費の適正化]

加入者が質の高い医療を将来にわたり持続可能な形で受けることができるよう、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、医療費の適正化に資する取組を進めます。

バイオ後続品（バイオシミラー）については、データ分析に基づく医療機関への働きかけを通じて使用促進を図ります。

地域フォーミュラの導入・運用に向けて、データ分析や他地域の取組状況に関する情報提供等、地域の医療関係者と連携を図ります。

OTC類似薬の薬剤自己負担の見直しを踏まえ、セルフメディケーションの推進に努めます。